



平成27年 氷川町成人式 未来に向かって新たな一歩 新成人122人の門出

1月3日、文化センターにおいて、平成27年氷川町成人式が行われ、新成人107人(対象者122人)が出席しました。新成人代表による実行委員で準備・運営された式典は、桜龍太鼓雅龍會による壮大な演奏で幕を開けました。藤本町長から「それぞれの目標に向かって、精一杯立ち向かってもらいたい。自らの可能性を追求し、社会で大いに活躍されることを期待しています」と式辞が述べられると、恩師によるスピーチ、新成人代表による誓いの言葉の発表などが滞りなく行われ、新成人の門出を祝いました。式終了後は懐かしい恩師や級友との再会に、笑顔で記念写真を撮り合うなど、晴れやかな門出となりました。

新成人代表から力強い誓いの言葉 恩師からは温かいメッセージが伝えられました



新成人「誓いの言葉」

丸山 喬大有 佐

今ここにいる107名は、成人と言う人生の大きな節目を迎えています。

その新成人一人一人が社会人としての決意を新たにしていることでしょうか。

私は大学で地方自治を専攻しており、地域社会について研究しています。

現在、私たちの地域が抱える課題として、若年層の流出が挙げられます。

地域経済の低迷により、雇用の受け手となる地元産業が厳しい状況にあることも原因ですが、地域社会の関心が希薄化していることも確かです。

そのことから私は、次世代を担う青少年に、地域の魅力を伝えるとともに、故郷への誇りを持つように導いていける教育者を目指しています。

さて、これからの人生には模範解答がありません。

つまり、人の数だけその道は開かれています。私たちはこれまでお世話になった全ての方々から身に付けた知識と判断力を駆使し、生涯を掛けてその答えを探し求めます。

その際に幾度となく社会からの洗礼を受けるでしょう。

しかし、私たちには自慢のふるさとがあります。このふるさとで出会った仲間がいます。出会いは財産であることを胸に刻み、これからも堂々と生きていきます。

最後に、この氷川町で学んだ全てを人生の糧とし、社会の一員として、地域の発展の一翼を担っていくとともに、人と人をつ結び、新しい地域社会の創造に貢献できる社会人となれるよう、日々精進していくことを誓い、新成人代表のあいさつとさせていただきます。



竜北中学校3年1組
担任 井上み先生

平成19年に竜北中学校に赴任し、その時に入学してきた1年生が今、目の前で立派な姿を見せてくれています。

非常に優秀な学年で、2年生の時には道徳の研究発表、次世代育成フォーラム、そして人権学習の研究発表など立派に発表した学年でもあります。

卒業後の進路などを聞くたびに懐かしい思い出が甦ります。

ふれあいスタジアムの授業と一緒に北海道に行ったり、熊日都市対抗駅伝で、代表選手と同じ時間を共有したりしました。この氷川町という町で育った生徒と多く関わることができて、非常に光栄です。

さて、皆さんはこれから大人として人生を歩んでいきます。

忘れないでいただきたいことは、今皆さんがあることは、家族のおかげだということですね。

今後周りに支えられると思いますが、ぜひこの成人式をきっかけに周りを支えられる人になって欲しいと思います。そして、これからの人生を豊かにしていってください。



竜北中学校3年2組
担任 飯田尊博先生

未来のことについて三つお話をさせていただきます。

一つ目は、皆さんには、今やりたいことがあると思います。それに対して今現在進行形の人もいるでしょうし、スタートラインに立った人もいるでしょう。これからという人もいるでしょう。体力的にも時間もまだ十分にあると思いますので、いろんなことに挑戦してほしいと思います。

二つ目は、皆さんには、やらなければならぬこともあります。社会的にも、また、家庭を持つと、その中でやらなければならないこともあります。やりたいことばかりではなく、やらなければならぬことも、しっかりとやってほしいと思います。

三つ目は、皆さんには、皆さんにしかできないことがあります。それが何なのかは一人一人探して、ぜひやり遂げてほしいと思います。

これから長い人生を歩んで行かれますが、ふるさとの氷川町、日本、世界を見据えて、輝かしい未来が開かれていくように、共に頑張ってください。



氷川中学校3年1組
担任 山野孝昭先生

成人を迎えられ、いろいろなプレッシャーもあると思います。

私から皆さんに伝えたい言葉は「生き急がないでください」ということです。私も20歳のとき、大学を休学していました。「自分はこの道じゃないんじゃないか」と、家族や友達に相談しました。

きっと、その時は生き急いでいたと思います。いろんな人の支えで踏みとどまって、もう一度自分を見直し、教員となるという自分の夢を、もう一度思い描きました。

これから先、君たちもいろんな迷いに出会うことがあると思います。その時に慌てずに周りを見てください。君たちの周りでは、たくさんの人たちが君たちを支えています。そして、見えない支えというものが、君たちの背中に多く存在しています。

自分の決断を信じて、生き急がず、自分の人生を豊かにしてほしいなと思います。

ひたむきな心で地道に努力をし、感謝する心で前を向き、湧き上がっていく心で、自分の人生をさらに豊かにしていってください。



氷川中学校3年2組
担任 池上藍先生

小さい頃からの夢であった教師の職に就いて、初めて担任をしたのが、今の前にいるあなたたちです。

思い出たっぶりのあなたたちに二つお話をしたいことがあります。

一つ目は仕事ということです。もう仕事をしている人も、今から仕事をする人も、さまざまだと思いますが、私は教師と言う仕事を選んで、本当に毎日の人生を楽しんで過ごせることができます。

ある本に、こういう言葉が書いてありました。「仕事を楽しくと人生の半分以上が楽しい」まさしく、そうだなと思います。自分が一生を懸けて楽しめるような職業を選択し、一生懸命、人生を歩んでほしいと思います。

二つ目は出会った人を大切にしてくださいということ。「人との出会いは偶然ではなく、運命なんだ」とある人に言われました。私も、あなたたちと出会ったのは本当に運命だったなと思います。

必ず人との出会いには意味があります。出会った人を大切に、これから長い人生を、一歩一歩確実に歩んでいってください。